

真理子先生の

女性の ミカタ

子宮腺筋症

真理子レディースクリニック
院長

伊藤 真理子

●(いとう まりこ)1986年山形大学
医学部卒業。山大病院、篠田総合
病院を経て2005年6月に真理子レ
ディースクリニックを開業。日本産科
婦人科学会認定産婦人科専門医。



本来なら子宮の内側にしかできない子宮内膜がそれ以外の場所に行けるのが子宮内膜症ですが、特に子宮の筋層内に行ける病気を「子宮腺筋症」と言います。

貧血に至るケースも

子宮腺筋症では、月経

の際に子宮の筋層内で内膜組織部分からも出血してしまいます。大きい子宮からの大量出血で、1回の月経でも重症貧血になってしまうこともあります。

また痛みも陣痛のように強烈で、重症になると肛門や足に響いてしまうこともあります。子宮筋腫と併せ持っている方も

多く見受けられます。



原因は不明

原因は不明で、子宮内膜が子宮筋層内に入り込んでしまうという説や、もともと子宮筋層内にあった子宮内膜から発生するという説もあります。

月経がなくなる閉経で症状が消え、子宮も小さくなります。妊娠すると月経は数年止まるので症状も一時的に改善しますが、月経が再来するとぶ

り返します。

治療はホルモン療法

治療は子宮内膜が増殖しないようにするホルモン治療が中心です。

このうち月経を止める「偽閉経療法」は有効ですが、半年の期間限定です。一方で「偽妊娠療法」は長期間続けることが可能です。「黄体ホルモン療法」や「治療用低用量ピル」なども選択肢の1つで、月経を軽くするばかりでなく、回数を減らすこともできます。

「子宮内黄体ホルモン放出システム」も過多月経や月経痛に効果的ですが、子宮の中に装着する

ので出産を経験した方に行われる治療です。

早めの受診を

出産経験者に多い病気ですが、高校生でも見かけます。辛い月経のお嬢様をお持ちの保護者の方は、小中学生でも医療機関にお連れください。

〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666

山形市小姓町 6-35

医療事務さん
募集中

詳しくはお問い合わせ下さい。

